今月の野菜



産地紹介:大分県 JAおおいた中部事業部 ~水耕栽培によるみつばの周年生産~

大分県農業協同組合 中部事業部 営農支援企画課 樋口 聡一郎

1 産地の概要

大分県農業協同組合(以下「JAおおいた」 という) は大分県内の19JAが広域合併し て運営している。はじめに、平成20年6 月1日に16JAが合併して誕生し、その後、 22年9月1日に杵築市農業協同組合、令和 3年4月1日に玖珠九重町農業協同組合、九 重町飯田農業協同組合が加わった。現在、 県内における農畜産物のJA取扱量におい て、全体の9割超を占めている。管内では、 にら、大葉、パセリ、みつばが周年で栽培 されているが、みつばは西日本一の出荷量 を誇り、中部事業部(大分市、由布市)を 中心に栽培されている(図1)。出荷量は 年間約500トンで、FG規格(注1) 換算で約 40万ケース、販売額は約3億2000万円(令 和2年度)である。主に、九州、中国、関西、 関東の市場に出荷している。

同事業部管内のみつば牛産者により組織 されているJAおおいた中部事業部みつば 部会は、旧大分市農協時代の昭和51年に 発足した。現在は、部会員8人が約6ヘク タール(ハウス36棟)の圃場で栽培して おり、主な生産地域は大分市内の上戸次、 戸次、東陽、明治、高田、松岡、横見地区 である。

(注1)野菜の鮮度を保持する袋(FG袋)の規格



図1 JAおおいた区域図

2 生産・栽培上の特色

同部会では、土を使わず、栄養分を溶か した水に根を浸す方法(水耕栽培)でみつ ばを生産している。水耕栽培はみつばに適 した環境にできることから、生育が早く、 定植後、冬は45日から50日、春は30日 から35日で収穫を迎える。このサイクル を1年間で7~8回繰り返すため、周年で の栽培・出荷が可能である(図2、写真1、 2)。

水耕栽培では水中の酸素が必要不可欠 で、コンピューター管理のもと、定期的に 空気を送りながら管理をしている。病気の 発生しやすい夏場は溶液の管理が特に重要 で、毎日みつばの状態を見ながら管理する 必要がある。

図2 JAおおいた中部事業部みつば部会 みつば栽培暦

【ベッド掃除・水交換】

基本的に年1回行う。 実施時期:3月~7月の間で各農場が計画・実施する。

春 (3月~5月)

日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	2	2 2	3 2	24	25	26	27	28	29	30	3	1 3	32	33	34	35	36	3	7 3	8 3	9 4	0 4	1	42 4	3 4	4 4	5 4	6 4	7 4	8 4	9 5	0 5	1 5	52 5	53 5	54 5	5 5	6 5	7 58	3 59	60)
主な 作業	定植	P. I Jami																								ļ												Ų.	-	収	穫	-	→]
主な防除	()	定虫虫菌菌(アモア	ファスヒリエ	, _ ピラ ニッ	ムシティ	乳系 水 / 小	制 和剤 く和	到 剤										(ī (ī	虫)虫)虫(虫)虫(虫)虫(虫)虫(虫)虫(虫)虫(虫)虫(虫)虫(虫)	育ア前カ前コ前デ剤服	フまスまロまル信	アでケでマでフト	ー』))))) イ) 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ムデ・デ・トンドで	礼弃 礼弃 (1)	削(割(削(立2	7 E (7 E 3 E 火禾	3																																		

夏(6月~9月)

日数	1	2	3 4	5	6 7	7 8	9	10 1	1 12	2 1:	3 14	15	16	17	18 1	9 21	0 21	. 22	23	24	25	26 2	27 2	28 2	29 3	0 31	1 32	33	34	35	36	37 3	38	9 4	0 4	41 4	2 4	3 4	45	46	47	48	49 5	50 5	51 5	52 5	53 54	1 55	56	57 5	58 5	9 6	0
主な 作業	定植																																			-	収	穫	→]
主な防除		虫 虫虫菌)ア 水 ア シ ト シ ト	ドマ和アファレッピ:	司イリー パブレン	7 一 乳 シ水 M水	顆 利 和 和 和	立 刊 刊												(b) (c) (d) (d) (e)	は) た は は は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	ア前り前口前が削りまれまります。	アでケでマでフド	_) _) /) /) /]	要ム ド ト ン ま 養 乳 顆 で 前	,剤,剤 (粒)	(7E I(7I (3E 水和																										
		- /	#/	T \	/H.	L	ルギ	ועי ר																																													

秋(10月~11月)

17/	(TO	/]	· т.	<u> </u>	/																																															
日数	1	2 :	3 4	5	6 7	7 8	9	10 1	1 1	2 13	14	15	16	17 1	18 19	20	21	22 2	23 2	24 2	5 2	6 27	28	29	30 3	1 3	2 3	3 3	4 3	36	37	38	39	40	41	42	43	44 4	15 4	6 4	7 48	49	50	51	52	53	54 5	5 56	57	58	59	60
主な 作業	定植			ļ																												←	4	又科	隻	\rightarrow																
主な防除	(菌(虫)	i)ア g)モ i)ア	'フ; -ス 'リ-	ァー ピラ エッ	間〜 ムンナイン ンM	,剤 <和 水利	剤 □剤										(b) (c) (d) (d)	ュ) ナ ョ) ョ) ョ) ョ)	アカフカコガデ 引ってまるまのまれば	アでケでマでフト	- L) ー) /) /) / 3 1	乳乳乳類で	割(剤(剤(粒ス	7日 (7日 3日 水和	1																											

冬 (12月~2月)

日数	1	2	3	4 5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	21	6 2	7 2	8 2	29 3	0 3	1 3	32 3	33 3	34 3	5 3	6 3	37 3	38 3	9 4	10 4	1	42 4	3 4	4 4	5 4	6 4	7 4	8 4	9 5	0 51	52	53	54	55	56	7 5	8 59	9 6	Ü
主な 作業	定植				ļ																																									٠	-	収	穫	-]
主な防除	(旦) (担) (担)	ュ)フ (国)フ	アドロ斉アファリ	マ/ ア- エッ	イヤームッテ	, 一 乳 イフ	顆 剤 水和	拉 z	k I																				(()	虫 虫 虫 まで))))) (ス使	ア前方前が削ら7.ピ用	アでケでフ削ピ前ラ可	一)一)パヨラまは	メディア (メリング) (生)	A A N A A A A A A A A A A A A A A A A A	忘じ (7 (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7)	7日 7日 7日 7日 1日	ŧ																				



定植直後の様子





写真2 収穫直前のみつば

3 出荷の工夫

同部会はJGAP団体認証(注2)を取得して おり、平成25年からはJAおおいたGAP 研究会大分みつば支部として認証を受けて いる。食の安全・環境保全・労働安全の実 現を図り、消費者への安全・安心なみつば の提供に取り組んでいる。

共同選果場での作業工程としては、生産 者がパネルから抜いたみつばをコンテナに 詰めて選果場に持ち込んだ後、場内のパー トスタッフが下葉を取り除き計量を行う。 その後、洗って脱水を行い、包装機に通し 箱詰めする。下葉の除去作業を行う際に病 害虫が出ていないか確認しながら作業をし ているため、その段階で検品の作業も兼ね ている(写真3、4、5)。

(注2) JGAP: 生産から出荷の過程で安全性にか かわるさまざまな要因をチェックする制 度。安全な農畜産物の生産、環境に配慮し た農業を実現するための農業生産工程管理 手法の一つ。



写真3 共同選果場における作業の様子



写真4 下葉を取り除く機械



写真5 出荷前のみつば

4 販売戦略

同部会では食育活動にも力を入れてお り、毎年3月8日を「みつばの日」とし、 20年以上前から市内の約40校の小学校や 約20カ所の福祉介護施設にみつばを無料 配布する活動を行っている。小学校へみつ ばを配布した後日、学校より『みつばをあ

りがとうございました、おいしくいただき ました』という内容の手紙が届いたことが ある。家庭では料理されることが少ないみ つばだが、こうした活動によってみつばを 家庭で消費される身近な野菜にしていけた らという思いで、生産・販売活動に取り組 んでいる。

◆一言アピール◆

みつばにはカリウムや鉄分、ビタミンなどが豊富に含まれており、美容と健康にとても良 い野菜です。そのままサラダにしても卵焼きに入れてもおいしいので、ぜひ大分のみつばを 食べてみてください。

◆お問い合わせ先◆

担当部署:大分県農業協同組合

住 所:大分県大分市花園3丁目2番10号

電話番号:097-546-1148 FAX番号:097-545-1144

ホームページ: https://jaoita.or.jp/